

取られ態勢を立て直した大神楽に左を差されるも、そこからの出足を許さず右腕を決めて魁電が引き落して大神楽を土俵に這わせた。

この瞬間に魁電の初優勝が決まり客席からは「魁電開、優勝おめでとう！」と喝采の声が上がると祝福の言葉と握手を求められる麻縄親方は満面の笑みが浮かぶ。こうして今年最後の本場所三日目からの9連勝で魁電が10勝1敗の見事な成績で混戦を制した。

また三賞は殊勲賞に佐賀ノ海(初) 敢闘賞に魁電(2回目) 英筏(2回目) 超刃(2回目) 技能賞に魁電(初) が選出された。

魁電の優勝はまだ館内が騒めくなか今年最後の横綱同士の千秋楽の結びは3敗の美空富士と5敗で勝ち越しに赤信号が灯った若ノ嶋とに一番。いつも大相撲を見せる両者はこの一番でも立会いからが激しい差し手争いを演じて土俵半周ほどの攻防を見せる。一瞬の隙を突いて若ノ嶋がのど輪を差し美空富士を向正面に押し倒してなんとか勝ち越して今場所を締めくくった。



若ノ嶋ノ千秋楽の勝ち越しに我が親方。念だが熱戦での決着に横綱の面目は保ったか？来場所こそ是非とも結びの一番まで優勝争いを演じてもらいたいものだ。



若ノ嶋ノ(押し倒し) ●美空富士

出場に挑んだ横綱鞍ノ城。九日目までを5敗でなんとか皮一枚残り十日目を迎えた。相手は第一人者の美空富士と一番、鞍ノ城が意地を見せ勝ち越しに望みを繋ぐ事が出来るのか？固唾を飲んで見守る客席と土俵下の親方衆の注目が集まるなか立ち上がった両雄鞍ノ城に大声援が送られたが立会いの鋭い出

足から美空富士に左を許すと、抵抗する事無く呆気なく寄り切り切られついに負け越し。

負け越しが決まっても千秋楽まで土俵を勤めると迎えた千秋楽は大開春ノ翔との一番。現役最後となる取り組みに懸賞も8本かかり、土俵に上がる。鞍ノ城の有終の美に期待を込めた大声援のなか立ち上がった。五角の立会いから差し手争いを見せ土俵中央から外へ外へもうひと押し攻め込め込め込めだが、そこから差され態勢を崩して向正面に寄り切り切られた。有終の美は館内から惜しめない声援が続いていた。(香具山)

### 寶蔵、決定戦を制す

優勝は9勝2敗で並んだ友砂部屋と綱嵐と九十九部屋の寶蔵の決定戦となり、寄り切りで寶蔵が勝って初優勝を飾った。新生九十九部屋としても、十兩優勝は初のこと。綱嵐は、友砂部屋として123回の黒船以来の優勝を期したが成らなかった。

今場所の十兩は、九十九部屋の生駒山、日向藤、葵盛、寶蔵の4人が中心となって展開した。終わってみれば、優勝は9勝2敗の寶蔵とや、葵盛が8勝3その他、葵盛が8勝3敗、生駒山、日向藤が6勝5敗と全員が勝ち越した。また、生駒山の香具山部屋に先を越されていただけに、



春ノ翔ノ(寄り切り) ●鞍ノ城



綱嵐 ●(寄り切り) ○寶蔵



冬牡丹 ●(寄り切り) ○葵盛

関西の地で大いに喜んでのことだろう。

一方、決定戦で敗れて惜しくも優勝を逸した綱嵐は、友砂親方が一番期待する若手有望株。太刀鳳とともに出世争いしていたが、今場所は明暗が分かれた。綱嵐は十兩優勝を逃したが、来場所の新入幕が確実の見込み。これには友砂理事長は、「綱嵐よ！よくやった！」と終始笑みを浮かべていたが、それに加え、幕内から陥落した西筆頭の黒船が千秋楽に勝って勝ち越し、一場所での幕内返り咲きが確実になった。

「名門友砂部屋から幕内力士が消える！」と衝撃的な番付発表があった以降、友砂理事長は一人心を痛めていたようだ。今場所ですべてを迎えることになっていて、幕内力士がいない状態のまま後進に部屋を譲るわけには行かない。「何とか幕内力士がいる状態の後を託さねば！」と場所前は、黒船、綱嵐に今までの思いを込め、2人は連日気合のこもった相撲で見事に幕内復帰、新入幕をそれぞれ掴み取った。

千秋楽恒例の協会挨拶で、友砂理事長は、朝日松親方に理事長の座を引き継いでもらうことを表明。友砂部屋を誰に託すのかが正式に表明しているが、黒船、綱嵐という2人の幕内力士を抱える形で部屋を託すことができたことだろう。

「友砂理事長、お疲れさまでした」(錦風)

### 人事往来

- 【人事異動】朝日松(元綱の花) ↓ 理事長
- 【定年退職】友砂(元綱) 島、九十九(元松輝山) 鳴駒(元鈴) 木、姫川(元輝雄山) 輝勢岩(元岩) 湊、逆風(元直雨) 藤見山(元閻) 虎、武者処(元琴嵐) 団子山(元福葉山)
- 【引退】鞍ノ城 ↓ 勝間田
- 【名籍変更】煙立(元蛮) 勇 ↓ 友砂 鳥籠(元佳乃嵐) ↓ 九十九 筒井筒(元昂の島) ↓ 鳴駒 伊勢崎(元六鬼剣) ↓ 輝勢岩

### 龍不動、播磨屋恋願の関取に

優勝は4戦全勝同士、播磨屋部屋の龍不動と春日根部屋の西磯野の対戦で勝った方が優勝という千秋楽となった。この対戦を制したのは、龍不動で、見事に5戦全勝の優勝を飾った。



龍不動 ○(押し倒し) ●西磯野

